

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院で大動脈弁狭窄症に対し弁置換術を施行された方へ

和歌山県立医科大学循環器内科講座では、以下の臨床研究を実施しております。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払わせて頂きます。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

大動脈弁狭窄に対する弁置換術後の予後予測における心エコー図による心機能評価の有用性：後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 循環器内科講座 准教授 穂積 健之

3. 研究の目的

高度大動脈弁狭窄症では、症状の出現や左室が血液を駆出できる割合（左室駆出率）によって、大動脈弁置換術を行う至適時期が判断されています。しかし、手術が成功しても、術後に症状が出現する例も報告されています。心エコー図では、各種計測値から心機能を評価しています。そこで、手術後の予後（心イベント）を推定するのに、各種心エコー図指標の有用性を評価したいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

高度大動脈弁狭窄症の患者さんで、2008年4月1日から2015年3月31日に本学附属病院にて大動脈弁置換術を施行された方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、手術前後の心エコー図・血液検査データ、および術後1000日間の、心イベント（症状、心不全入院、心臓死）に関する情報です。

(3) 方法

本学附属病院の診療情報を基に、調査・観察を行います。調査は、原則、研究対象者の来院により、本学附属病院の診療情報に基づいて行います。転院等で本学附属病院に来院できない研究対象者に対しては、電話、手紙などにより所定の調査を実施いたします。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科講座

研究責任者：穂積 健之

担当医師：太田 慎吾、森本 順子

TEL : 073-441-0621、 FAX : 073-446-0631

E-mail : thozumi@wakayama-med.ac.jp